

大丸有 SDGs ACT5

2020年8月24日

大丸有 SDGs ACT5 実行委員会

**大手町・丸の内・有楽町地区を舞台に持続可能なアクションを。
企業の枠を超えたパートナーシップにより、31個のアクションを推進！
～丸ビル外構「サステナブルゾーン」の展開や、「大丸有 SDGs 映画祭 2020」など7か月にわたり実施～**

三菱地所株式会社、農林中央金庫、株式会社日本経済新聞社、株式会社日経 BP 等で構成される大丸有 SDGs ACT5 実行委員会は、2020年5月に開催された「日経大丸有エリア SDGs フェス」を皮切りに、就業者約28万人、約4,300事業所が集う大丸有エリアを活用し、「大丸有 SDGs ACT5」として、SDGsに関連する様々な取り組みを推進しております。

初年度となる2020年度は、「サステナブル・フード」「気候変動と資源循環」「WELL-BEING」「ダイバーシティ」「コミュニケーション」という5つのACT（テーマ）を設定し、5月より約7か月間にわたって31個のアクションを展開してまいります。これらは、合計約45社（実行委員企業を含めない）と連携した取り組みとなっており、多くの企業と協業することで、大丸有エリアを中心によりたくさんの人々に対してSDGsへの共感を深めるものです。

期間	5月～11月の7か月間				
テーマ	サステナブル・フード (7アクション)	気候変動と資源循環 (5アクション)	Well-Being (5アクション)	ダイバーシティ (8アクション)	コミュニケーション (6アクション)
主なアクション	<ul style="list-style-type: none"> ・社食でのフードロス削減実験 ・食のサステナビリティワークショップ ・「産地直送バスあいのり便」を活用した新たな産地との取り組み 他4アクション 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市と地方のサーキュレーション～生分解性プラスチックの再利用による資源の循環～ ・丸の内エコ弁プロジェクト～持続可能なお弁当容器～ 他3アクション 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークカルチャーラボ始動！ ・With コロナ時代における交流スペース提案 ・TOKYO OASIS ・丸の内スポーツフェス 他1アクション 	<ul style="list-style-type: none"> ・街の研修プログラム①（ユニバーサルマナー） ・街の研修プログラム②（性的指向、性自認について） ・都市と地方の障がい者雇用の取り組み 他5アクション 	<ul style="list-style-type: none"> ・大丸有 SDGs 映画祭 2020 ・大丸有 SDGs ACT5×東京ビエンナーレ 2020/2021 ・日経大丸有エリア SDGs フェス 秋の陣 他3アクション

東京駅前にある丸の内ビルの敷地内外構部スペースを活用する取り組み「サステナブルゾーン」では、2020年7月27日（月）から食を起点とした取り組みの他、8月21日（金）より9月6日（日）までの期間においては、東京ビエンナーレ2020/2021と連携し、アートを起点としたメッセージを発信してまいります。

また、8月31日（月）からは、「大丸有 SDGs ACT5」のシンボルイベントとして「大丸有 SDGs 映画祭 2020」を開催します。大丸有エリアの様々な会場で、SDGs を切り口に集めた長編・短編映画を上映するほか、トークショーやオンライン上映も実施します。



大きい人©栗原良彰 「サステナブルゾーン」での展示



「大丸有 SDGs 映画祭 2020」

■ 5 つの ACT (テーマ) に基づく 31 個のアクション

詳細は大丸有 SDGs ACT5 公式 HP (<https://act-5.jp/>) をご確認ください。

※ 下記取り組みは実施予定であり、今後の状況に応じて内容が変更になる可能性があります。

ACT テーマ	No.	ACTION	連携先	開催時期	内容
サステナブルフード	1	社食でのフードロス削減実験	NPO法人ごみやばん エコツェリア協会 エムサービス(株)、(株)ノンビ	9月	新型コロナウイルスの影響で、社員食料利用者が減少していることから今年度は最小限の活動として、特定多数の人々が利用する「社員食堂」を活用して、フードロスの定義づけや現場でフードロスが起きる原因について追究する。
	2	食のサステナビリティワークショップ	Social Gastronomy Movement Japan Chapter	10月	国内・国外の様々な角度から、食とサステナビリティを取り巻く問題に対しての情報発信を図ることで、エリア就業者のフードロスへの意識を高める。
	3	Good Re:cipe Book From Marunouchiのエリア内配布	Tokyo Good Manners Project good mornings(株)	7月中	日本で発生するフードロスのうち、約半分が家庭から出ると思われる。食べられるが廃棄されているものが多分にある。それらをエリア内のショップと連携し、発信することで日々の生活でできる取り組みを紹介。
	4	「産地直送バスあいのり便」を活用した新たな産地との取り組み	(株)アップクオリティ JA全中	7~10月	高速バスの荷台を使った貨客混載の取り組み「バスあいのり便」を活用し、少量多品種で流通コストがかかる野菜や、規格外として廃棄される野菜を買い取り、都市で販売することで産地のフードロスを削減する。
	5	ジビエの消費拡大と、里山保全の啓発	日本ジビエ振興協会	10~11月	「ジビエ」は高い栄養素を持つ食材でありながら、処理、流通、獣害等の多くの課題と密接している。それらの課題を美味しく食べるのと併せて、食べる意義やその背景にある課題を訴求する。
	6	もらって応援！丸の内×蕎麦の産地応援プロジェクト	山形県鮭川村	7月末~	各種イベントが自粛となる中で、花の需要が大きく落ち込み、産地も大きな影響を受けているなか、花の需要喚起を目的として、国内有数の産地の山形県鮭川村と連携したキャンペーンを開催。
	7	食べて応援！丸の内×漁師さん応援プロジェクト	全国漁業協同組合連合会	8月~	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、国産の水産物が行き先失い、漁師さんの売上・所得が減少しているなか、生産者支援および食品ロス削減 (SDGs) の観点から、丸ビルおよび新丸ビルのレストランでの海産物の消費を通じて、産地や漁師さんへ応援する。
気候変動と資源循環	8	都市と地方のサーキュレーション ~生分解性プラスチックの再利用による資源の循環~	(株)アップクオリティ (株)FIT	8~11月	生分解性プラスチック製品の使用に前まるとはなく、地域社会と連携し、コンポスト、堆肥化の実験を開始。都市で使用した製品を地域で堆肥化、野菜の栽培に使用し、都市で消費する循環モデルの形成へ取り組む。
	9	丸の内エコ弁プロジェクト ~持続可能なお弁当容器~	大丸有エリアの飲食店、就業者 (株)ヨコタ東北 (株)静岡産業社	稼働中	食べ終わった後に表面のフィルムをはがし、汚れたつた当該フィルムのみを捨て、綺麗なお弁当で回収できる容器部分をリサイクル可能な容器を大丸有エリア内の飲食店、就業者と連携し回収。街単位で廃棄物削減へ取り組む。
	10	イルカ・クジラの生態から環境問題を考える	エコツェリア協会	10月	陸から再び海に戻った哺乳類、イルカ・クジラに注目し、浜に打ち上げられた鯨類の死体を調査することで見える海の環境問題を訴求する。
	11	里山再生・養蜂をキーとした都市×農村の交流	(株)ONE DROP FARM	9~10月	里山再生を切り口に養蜂を営む「ONE DROP FARM」の豊田代表とともに、新しい暮らしの楽しみ方を体感し、都心と里山の相互交流を広げていく。
	12	生態系調査と生き物保全活動「源プロジェクト」 ~皇居外苑の環境改善~	環境省 (公財)日本自然保護協会 他	未定	三聖地所が皇居外苑における水辺環境改善および生態系の再生を目的に、民間企業として初めて、皇居のお濠由来の希少な水草や生きものなどの保全を行う活動。
Well-Being	13	ワークカルチャーラボ始動！	丸の内ヘルスカンパニー その他コンソーシアム参加企業	8月~	コロナ禍において在宅勤務をはじめ、オフィスでの執務を中心とした従来のスタイルとは異なる働き方が試されている社会状況を踏まえ、一人ひとりの Well-Beingと企業の持続的成長を両立させる働き方を実現・分析し、これからの時代に向けた新しいワークカルチャーを提案、発信する。
	14	Withコロナ時代における 交流スペース提案	三菱地所(株)	9月~	「リアル」の場での知と知の結合によるイノベーション創出の価値を追求するために、人々が安心して街へ訪れ価値創造ができる場について追究し、実証的に施設の在り方を提案する。
	15	Social Good Distance展	(株)オンデザインパートナーズ	6月24日~ 7月23日	株式会社オンデザインパートナーズとの連携により、「ソーシャルグッドディスタンス」を考え、都市空間の新しい遊び方、楽しみ方のデザインを提案するコンペティションを開催。
	16	快適な外歩きをサポート「TOKYO OASIS」	Green Tokyo 研究会	7月~	Green Tokyo研究会が運営する、環境情報等をリアルタイムに可視化・シミュレーションし、快適に過ごせる空間 (ルート・場所) を発信するWEBサービス。涼しい快適な外歩きを提案します。
ダイバーシティ (多世代教育)	17	丸の内スポーツフェス	三菱地所(株) 三菱地所プロパティマネジメント(株)	10月	丸の内・大手町エリアの就業者や来街者の健康意識向上・交流促進を目的とした参加型スポーツイベント「MARUNOUCHI SPORTS FES 2020」を開催予定
	18	街の研修プログラム① (ユニバーサルマナー)	(株)ミライロ	10月	大丸有エリアが「全ての人が安心して快適な街であるためには、来街者を受け入れる側の人間のマインドセットがその第1歩となる。それらを醸成する就業者を対象とした研修プログラムを実施。
	19	街の研修プログラム② (性的指向、性自認について)	(株)アカルク	10月	大丸有エリアが「全ての人が安心して快適な街であるためには、来街者を受け入れる側の人間のマインドセットがその第1歩となる。それらを醸成する就業者を対象とした研修プログラムを実施。
	20	都市と地方の障がい者雇用の 取り組み (農福連携を切り口に)	(株)スタートライン (株)鈴生、京丸園(株) 他IBUKI利用企業	10月	障がい者雇用をはじめとする社会課題の発信を通じ、スタートライン社とともに「食べる」、「楽しむ」、「学ぶ」の3つの軸で活動を展開。参加者へ気づきを提供し、次なるアクションの振り返り起しをを目指す。
	21	女子テニスアスリート写真展	4U/For You	10月	スポーツ界における男女、または障害の有無による活動環境の差をアスリートの写真を通じて訴求する。
	22	第19回キラキラとアートコンクール ~エリア審査会~	(社)東京コロニー	10月	三聖地所がかねてより開催している障害のある子供たちのアートコンクールの審査会をエリア就業者を巻き込み、街全体が参加する形式で開催。選ばれた50作品は全国8か所にて順次展示される。
	23	バリアフリーWG	東京地下鉄(株) (株)ゼンリン 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会スマートシティ推進委員会	7月~	大手町・丸の内・有楽町地区ではスマートシティプロジェクトを推進中であり、その中の1つとして、「丸の内地区に訪れる人のストレスフリーな移動支援」をテーマに歩行が困難な方 (主に車いすご利用の方を想定) に対し施設設備 (東京メトロ大手町駅) から地上部までの移動をより容易にするためのバリアフリーナビゲーションについて検討を行う。
	24	丸の内サマーカレッジ2020	エコツェリア協会	8月	大丸有エリアにて、これからの日本を担っていく高校生・大学生と共に未来を語り上げる「丸の内サマーカレッジ2020」を8月12日(水)~14日(金)の3日間にわたって開催。これからの新しいまちづくりに関して、多世代が交わりディスカッションを繰り広げる。
コミュニティエンゲージメント	25	丸の内プラチナ大学×「農泊」を通じた地域の持続可能性	エコツェリア協会 JA全農、(株)農協観光、日本ファームステイ協会	10月	人が生きる上で、とても大切な「食(文化)」への熱き思いを持った地域の方々、『働・住』の目線で地域住民・生産者体験が出来る「農泊」等を通じて、心通える地域観光を参加者に訴求する。
	26	大丸有SDGs映画祭2020	(株)ビジュアルボイス ユナイテッドピープル(株)	8月31日~ 9月5日	誰もが関心を抱くものではない社会課題だからこそ、誰もが親しみやすい「映画」というツールを用いて、普段接する機会のない様々なグローバル 이슈について知り、行動するきっかけを創出。
	27	大丸有SDGs ACT5× 東京ビエンナーレ2020/2021	(一社)東京ビエンナーレ	8月21日~ 10月25日	東京ビエンナーレ2020/2021とSDGs ACT5の共催企画として、丸ビル1階マルキューブ及び外構部において、サステナビリティをテーマにしたアートプロジェクトの展示を行う。アーティストの感性から表現されたサステナビリティの体験により、丸の内を訪れた人々にSDGsについて語り合い、社会課題の向き合い方を提供する。
	28	日経大丸有エリア SDGs フェス 秋の陣	(株)日本経済新聞社 (株)日経BP	8月31日~ 9月4日	日経新聞社、日経BPが主催するSDGsの様々なテーマについて外部有識者や企業の役員クラスを招聘し、世界へ発信する大型カンファレンス。5月開催時は総視聴者数5万人超。
	29	Pick Up SDGs ~大丸有エリア内の商業店舗で販売されている エシカルな商品の紹介~	三菱地所プロパティマネジメント (株)	7月~	大丸有エリアに店舗を構える物販企業も多くの取り組みを推進されている。その取り組みを可視化すべく、各企業が商品に込めたサステナビリティを発信するWEBサイトをオープン。
	30	大丸有SDGsラベリング ~エリアにおけるSDGsの取り組みを可視化し、 継続する為の指標に~	千葉大学大学院 工学研究院	稼働中	エリアで現在取り組んでいるSDGsの取り組みを可視化し、現状をモニタリングすると共に、次なるアクションへ繋げる。将来的には街を挙げて取り組むことの意味を定期的に評価する指標づくりを目指す。
	31	大丸有SDGs ACT5 Closing ACT	(株)Story 他ACT5関係企業	11月	夫々のプロジェクトの背景にある様々な社会課題に対し、アクションを起こしていく中で、見えた大小さまざまな構造的な問題についての考察や、そこから見える都市、企業の役割について言及します。

■各アクション協力先（順不同）

東邦レオ株式会社、三菱地所プロパティマネジメント株式会社、Tokyo Marunouchi Innovation Platform、株式会社アップクオリティ、一般社団法人 全国農業協同組合中央会、全国漁業協同組合連合会、株式会社 ONE DROP FARM、一般社団法人東京ビエンナーレ、株式会社 Inter Local Partners、株式会社ノピ、株式会社サンプラックス、株式会社鈴生、京丸園株式会社、全国農業協同組合連合会、株式会社農協観光、一般社団法人ファームステイ協会、株式会社オンデザインパートナーズ、エームサービス株式会社、good mornings 株式会社、一般社団法人 Tokyo Good Manners Project、株式会社ミライロ、株式会社アカルク、株式会社ビジュアルボイス、株式会社スタートライン、丸の内ハウス、株式会社 FIT、一般社団法人日本ジビエ振興協会、Social Gastronomy Movement Japan Chapter、株式会社 Story、特定非営利活動法人ごみじゃぱん、株式会社ゼンリン、東京地下鉄株式会社、森永乳業株式会社、株式会社マーベラス、アストラゼネカ株式会社、日本クロージャー株式会社、株式会社スペース、ゼオンメディカル株式会社、学校法人聖路加国際大学 聖路加国際病院、イーグル工業株式会社、ボルボ・カー・ジャパン株式会社、クックメディカルジャパン合同会社、株式会社アシスト、有楽町「micro FOOD&IDEA MARKET」、Marunouchi Happ. Stand & Gallery、社会福祉法人東京ココニー（2020年8月時点で実行委員企業含めず約45社）

■丸の内ビルディング敷地外構部「サステナブルゾーン」取り組みの詳細

開催場所	コンテンツ別 展開期間	1週目 7月27日(月)～ 8月2日(日)	2週目 8月3日(月)～ 8月9日(日)	3週目 8月10日(月)～ 16日(日)	4週目 8月17日(月)～ 8月21日(金)	5週目 8月21日(金)～ 8月30日(日)	6週目 8月31日(月)～ 9月6日(日)
丸ビル 外構	コンテンツ① バスあいのりマルシェ 野菜販売 山形県鮭川村の薔薇配布	開催期間 ↔			開催期間 ↔		
	コンテンツ② バスあいのりマルシェ 八ヶ岳サステナブル野菜販売	開催期間 ↔					開催期間 ↔
	コンテンツ③ 長野県のジビエ (鹿肉・精肉) 加工品の キッチンカー販売			開催期間 ↔			
	コンテンツ④ 東京ビエンナーレ2020/2021 アート展示					「大きい人」展示期間 ↔ 「Emote-Girl」展示期間 ↔ 「フォレストボール」展示期間 ↔ ※展示場所・期間は下記詳細参照 ↔	
	コンテンツ⑤ 映画「もったいないキッチン」発 キッチンカー出店						開催期間 ↔
大丸有 エリア内	大丸有SDGs映画祭2020						開催期間 ↔
	日経大丸有エリア SDGsフェス 秋の陣						開催期間 ↔

①もらって応援！丸の内×バラの産地応援プロジェクト<開催終了>

期間：7月27日(月)～8月2日(日)、17日(月)～21日(金)

概要：高速バスの荷台を活用した「バスあいのりマルシェ」の開催による生産者のロスを減らす取り組みに加え、バスあいのり協議会に参加している山形県鮭川村のバラ農家において新型コロナウイルスの影響により発生した過剰在庫を買い取り、同マルシェにおいて購入者へ配布する。

共催：株式会社アップクオリティ



②バスあいのりマルシェ×八ヶ岳のサステナブル野菜

期間：7月27日(月)～8月9日(日)、8月31日(月)～9月6日(日)

概要：八ヶ岳南嶺にある別荘地域で排出、廃棄される大量の落ち葉を活用し、地元の酒蔵で発生する米糠と混ぜ合わせることで製造される、地産地消かつ地域資源を循環利用した落ち葉堆肥で作られた野菜を販売。現在は現地農家協力のもと、生分解性プラスチックのコンポスト実証実験を行っている。

共催：株式会社 FIT (大地への恩返しプロジェクト)
株式会社アップクオリティ

③地域課題を知るジビエキッチンカー <開催終了>

期間：8月10日(月)～16日(日)

概要：ジビエは数多くの社会課題と密接に絡み合っており、ジビエの消費を通じて背景にある里山保全、加工、流通などの課題に触れる機会を創出する。但し、社会課題を全面に押し出すだけでなく、国産ジビエ認証の概要や正しい調理法、ジビエの栄養面など「美味しさ」や「健康」といったジビエの流通量拡大に向けた情報発信も本キッチンカーと同時または別企画にて発信する。

共催：一般社団法人日本ジビエ振興協会
株式会社アップクオリティ

④大丸有 SDGs ACT5 × 東京ビエンナーレ 2020/2021 <開催中>

期間：8月21日(金)～10月25日(日)※作品によって展示期間が異なります。

概要：アーティストの感性から表現されるサステナビリティをテーマにしたメッセージのアート作品を展示。作品を体感し、人々が語らうことで社会課題と向き合う時間を創出する。

共催：一般社団法人 東京ビエンナーレ

協力：特定非営利法人大丸有エリアマネジメント協会
一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会

展示作品：

(1) 栗原良彰 「大きい人」

・期間：8月21日(金)～8月30日(日)

・会場：丸ビル外構「サステナブルゾーン」

・作品概要：ヒートアイランド現象で暑くなった都心に、夏の暑さを利用したクールスポットが登場する。高さ3mの巨大彫刻「大きい人」が丸ビルに出現。彫刻に向かって打ち水のように柄杓で水をかけると、気化熱の仕組みで周囲を涼しくする。

※水かけ体験はどなたでもご参加いただけます。ぜひお越しください。



栗原良彰「大きい人」

(2) Hogalee 「Emote-Girl」

- ・期間：8月21日(金)～9月6日(日)
- ・会場：丸ビル1階 マルキューブ
- ・作品概要：5つの表情のオンナノコが30m×7mの丸ビルのガラス面に登場します。タイトルのemote(エモート)とはemotion(感情)からの逆成で出来た言葉で、「大げさな振る舞いやジェスチャー」などの意味を持ち、action(行為)を伴う意思を持つ感情表現。一瞬の表情の変化に内面の動きを捉え表現しています。アニメやマンガのかわいいキャラ像とは一線を画し、その時代の女性像を色濃く反映させた女性像は、アイコン(女神)としてメタリカルな「TOKYO」を創出しています。Hogaleeの東京ビエンナーレ2020/2021作品第2弾。



Hogalee 「Emote-Girl」

(3) 廣瀬智央「フォレストボール」

- ・期間：8月21日(金)～10月25日(日)
- ・会場：新有楽町ビル
- ・作品概要：2020年のアーツ前橋「廣瀬智央地球はレモンのように青い」展のために制作された作品《フォレストボール》。直径2.5mの球体の表面は、まるで植物が繁茂する森のように人工植物によって覆われている。遠くからだと巨大な苔玉のように見えるが、あくまでも人工物によるオブジェである。“人工”でできた“自然”という二つの相反するものが、球体という地球や宇宙を想起させる形になっている。普段当たり前のように接する“人工”や“自然”という概念を改めて問い直し、意味を転倒させることで新たな想像が広がっていく。



Forest ball, 2020, Installation view at Arts Maebashi, Photo: Shinya Kigure

⑤もったいないキッチンカー～ロス食材を救え～

期間：8月31日(月)～9月5日(土)

概要：廃棄食材を活用した料理を届けながらヨーロッパをめぐる旅を追ったドキュメンタリー「0円キッチン」を手掛けたオーストリアのジャーナリスト、ダービド・グロス氏が日本各地をキッチンカーでめぐり制作し、今夏公開予定のドキュメンタリー映画「もったいないキッチン」に登場するキッチンカー（実物）を使った食品販売。コンビニや一般家庭、加工製造業現場にある、まだ食べられるのに捨てられる運命にある“0円食材”を救済し、シェフや生産者の協力を得て、美味しい料理に生まれ変わらせることでフードロスを減らすとともに啓発を図る。

共催：ユナイテッドピープル株式会社



■「大丸有 SDGs 映画祭」開催概要

詳細は大丸有 SDGs ACT5 公式 HP (<https://act-5.jp/>) をご確認ください。

会期：2020年8月31日(月)～9月5日(土)

協力：株式会社ビジュアルボイス、ユナイテッドピープル株式会社

プロデュースチーム：

井上 成 (大丸有 SDGs 映画祭 2020 総合プロデューサー、
大丸有 SDGs ACT5 運営委員会委員長、
三菱地所株式会社エリアマネジメント企画部担当部長)

別所 哲也 (大丸有 SDGs 映画祭 2020 Co プロデューサー、俳優、
ショートショート フィルムフェスティバル & アジア代表)

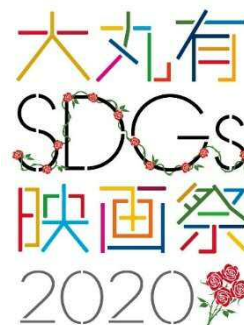
関根 健次 (大丸有 SDGs 映画祭 2020 Co プロデューサー、ユナイテッドピープル株式会社 代表取締役)

映画祭アンバサダー：

アーヤ 藍 (大丸有 SDGs 映画祭 2020 アンバサダー、モーションギャラリーコミュニティディレクター)

会場：大丸有エリア内のビル 10 棟、全 12 か所のスペース

作品：長編作品 全 17 作品、短編作品 全 7 作品を上映予定



※1 大丸有 SDGs ACT5 とは

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す SDGs 目標期限の 10 年前にあたる今年、大丸有エリアでは改めて「SDGs 元年」とし、大丸有に拠点を置く企業が企業の枠を超えて連携することで、SDGs モデル都市の構築を目指します。初年度となる 2020 年度は「サステナブル・フード」「気候変動と資源循環」「WELL-BEING」「ダイバーシティ」「コミュニケーション」の 5 つのテーマを設定し、各アクションを実践、効果の検証、社会課題の構造的な問題を明らかにすることをミッションとしています。今後も、5 つのテーマに則した具体的なアクション、検証、発信を継続的に実施して参ります。

【実行委員会構成企業・団体】

三菱地所株式会社 (委員長)、農林中央金庫 (副委員長)、株式会社日本経済新聞社 (副委員長)、株式会社日経 BP、丸の内熱供給株式会社、一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、特定非営利法人大丸有エリアマネジメント協会、一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会

【協賛】

東邦レオ株式会社

【報道関係の方のお問い合わせ先】

大丸有 SDGs ACT5 実行委員会事務局 (株式会社 STORY 内)

担当：小安 (info@act-5.jp) TEL:03-6260-6808 (平日のみ 10 時～17 時)